

海岸保全施設の被害状況等を確認するため、3月23日に海岸の専門家3名（河川研究部）を現地に派遣した。（計3人日）



護岸のはらみ出しを確認



護岸のひび割れ・空洞を確認

現地調査の結果、護岸のはらみ出しやひび割れ、空洞が確認された。また、隆起による人工リーフ(潜堤)の水面上への冠出が見られた。

今後、関係機関と情報を共有し、被災メカニズムの解明、復旧等に対する助言を行う。



隆起の状況を確認

地震前の海面
(推定)



隆起による人工リーフ(潜堤)の冠出